

令和4年3月11日

株式会社メディアシーク

代表取締役社長 西尾 直紀
 (コード番号:4824 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役業務管理部長
 根津 康洋
 (TEL 03-5423-6600)

各位

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、令和3年9月10日に公表いたしました令和4年7月期(令和3年8月1日～令和4年7月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

令和4年7月期 通期連結業績予想数値の修正
 (令和3年8月1日～令和4年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	867	28	52	36	3.69
今回修正予想(B)	886	53	88	73	7.49
増減額(B-A)	19	25	36	37	
増減率(%)	2.2	89.3	69.2	102.8	
(ご参考) 前期実績 (令和3年7月期)	1,778	166	202	476	48.89

(注)上記の前期実績の値は、前期第2四半期末まで連結子会社であり、現在は独立して上場している株式会社デリバリーコンサルティングの数値を含んだ値となっております。同社を除いた場合の前期実績は下記の通りとなります。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
(ご参考) 前期実績 (株式会社デリバリー コンサルティングを除 いた場合の実績)	976	38	36	429	44.09

2. 修正の理由

【営業利益】

コーポレート DX において、既存顧客からの継続的な受注増加及び新規顧客からの受注の獲得により、国内法人企業向けシステム受託開発プロジェクトの売上が好調に推移する見通しとなったことから、コーポレート DX 全体で当初見通しの売上高を上回る見通しとなり、営業利益についても当初見通しを上回る見通しとなりました。

なお、第3四半期連結会計期間以降もコーポレート DX におけるクライアント企業からの引き合いは引き続き好調な状況が見込める状況にはありますが、将来の中長期的な成長の実現を見据え、社内リソースの一部をブレインテック・DTx 及び画像解析・AI の新規ビジネス立ち上げに向けた活動や研究開発活動に優先的に投入致します。その結果、第3四半期連結会計期間以降の営業利益の上積みは限定的なものとなる見込みとなっております。

【経常利益】

令和3年9月10日に公表いたしました令和4年7月期通期の連結業績予想において、経常利益については52百万円を想定しておりましたが、上記要因により営業利益が当初見通しより大幅に増加する見通しとなったことにより、当初見通しの経常利益を36百万円上回る見通しとなりました。

【親会社株主に帰属する当期純利益】

令和3年9月10日に公表いたしました令和4年7月期通期の連結業績予想において、親会社株主に帰属する当期純利益については36百万円を想定しておりましたが、上記要因により営業利益及び経常利益が当初見通しより大幅に増加する見通しとなったことにより、当初見通しの親会社株主に帰属する当期純利益を37百万円上回る見通しとなりました。

その結果、令和3年9月10日に公表いたしました令和4年7月期通期連結業績予想の営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について、予想を上回る見通しとなったことから上記の修正を行うものです。

(注) 本業績予想は、本資料発表時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づき作成しております。本業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えられるようお願いいたします。また実際の業績は、様々な要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

以上